

# 社会科（歴史的分野） 学習指導案

## 授業のみどころ

江戸幕府の鎖国政策について、これまでの歴史的な背景をもとに世界の中の日本としてとらえ、諸外国と幕府との外交関係を取り扱います。また、さまざまな資料から幕府の対外政策の本質を多面的・多角的に考察し、当時の幕府の政策の学習を通して歴史のおもしろさに迫ります。

日 時 平成18年11月16日 2校時

場 所 山鹿市立菊鹿中学校

年 組 山鹿市立菊鹿中学校 1年2組

男子15人 女子13人 計28人

指導者 山鹿市立菊鹿中学校 教諭 松山 誠一郎

## 1 単元名 「江戸幕府の成立と鎖国」(東京書籍P90～97)

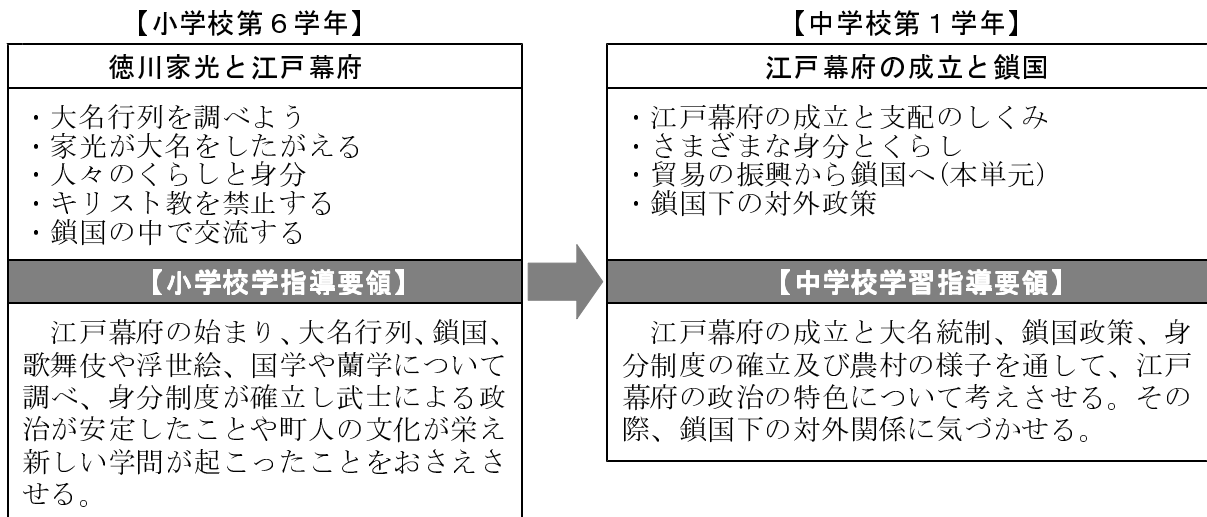
## 2 単元について

### (1) 単元観

徳川家康・秀忠・家光は、諸大名を統制するとともに領内の政治に対して責任を負わせ、約260年も続く武士による幕藩体制の基盤づくりを成し遂げた。幕府は、武家諸法度の制定、参勤交代の実施、身分制度の確立、鎖国政策などを通して、これまでの下剋上、戦国時代とは異なり安定した支配体制を確立していった。

本単元では、これまでのキリスト教に対する政策、および諸外国との外交関係の変化についてどのような意義があったのかを考えさせていく。このことは、学習指導要領の目標(4)「様々な資料を活用して歴史的な事象を多面的・多角的に考察し公正に判断するとともに適切に表現する能力と態度を育てる」とともに、本大会のサブテーマである「教材開発と発問の工夫」に適した題材であると考えられる。

### (2) 系統観



小学校では、出島を中心に鎖国が行われた意義や経緯について簡単に扱っている。また、鎖国までの影響から天草四郎時貞を中心とした島原・天草の一揆を学ぶ。こうした背景をもとに中学校では、鎖国の経緯や意義などをこれまでの人物を取り扱いながら、世界的な中で日本としてとらえ、朱印船貿易やキリスト教弾圧、大航海時代からの諸外国との関わりから鎖国に対して学習を深める。

### (3) 生徒の実態

本学級は、男子15名、女子13名、計28名の明るく元気で男女の隔てなく誰とでも話ができるまとまりのある学級である。また、お互いにわからないところを教え、協力し合ったりすることで生徒一人ひとりが学級のまとまりを高めようとしている。

社会科学習では、映像や写真などの資料に関して大変興味を示しており、新しいものを学ぶ・知ることの楽しさを自ら感じ取ることができる。また、自分の意見や考えを持つことができるだけでなく、みんなの前でしっかりと発言し、さらには発言していることを周囲もしっかりと聞き止めるなどの学習態度も良好である。しかし、課題に対して適切な資料を活用したり、資料を用いて考えたりすることに苦手意識があり、時間が要する点が課題である。

単元における社会科アンケート調査は、以下の通りになる。

#### 社会科に対するアンケート調査（調査人数28人）

★歴史は好きですか。	好き17人（61%）、だいたい5人（18%） あまりできない6人（21%）、きらい0人（0%）
★資料等を活用して自分の考えをまとめることができますか。	できる5人（18%）、だいたいできる14人（50%） あまりできない9人（32%）、できない0人（0%）
★自分の考えや思いをはっきりと発表できますか。	できる7人（25%）、だいたいできる14人（50%） あまりできない7人（25%）、できない0人（0%）
★「鎖国」について知っていることを自由に書いてください。	○他国との貿易をやめる。 ○キリスト教とかの宗教を教える人を入れないため。 ○日本への侵入をできなくしたこと。 ○外国と日本の行き来が出来ない。 ○国内で過ごし、外国に行けない。 ○何かの条約をやめること。 ○外国勢力が入ってこないように。 ○外国に行くことも行っていた人が帰ってくるのも禁止した。 ○オランダ・中国以外とは貿易をしなかった。 ○幕府がキリスト教の人たちが幕府にはむかうのを恐れて鎖国にした。
★「出島」は何のために作られたのでしょうか。	○貿易のためにきた人達を住ませる所。 ○鎖国の中、唯一の他の国との交流の場や西洋文化を取り入れるため。 ○外国(オランダ)の物も輸入したり、日本の物を輸出したりする所。 ○オランダなどの人を住ませて交流したりするために作られた人工島 ○つくられた島で貿易をする所 ○外国の文化などを取り入れるために日本に一つだけ貿易を許された島。

#### (4) 指導観

指導に関しては、歴史的事象に関する様々な資料を活用して生徒の興味・関心を喚起するとともに、個人個人の思考が十分にできるような時間の確保を行う。さらには、多面的・多角的考察ができるように4人～5人のグループをつくり、よりいろいろな意見を聞いたりまとめたりする事ができるように配慮する。また、暗記教科にならないように、これまでの江戸時代以前からの流れや基礎的・基本的事項を確実に理解させ、課題に対して自分の言葉で考えを述べられるような指導に心がける。

特に次の3点から、単元の授業に関してアプローチを試みる。

- ①魅力ある教材の開発を行い、小学校で既習した事柄の復習の意味を含め、自由な発言を促すような資料の提示を行っていくこと。
- ②学習の中心発問を学習の流れにあわせて明確にし、基礎的・基本的事項を確実におさえさせていくような発問の工夫を行うこと。
- ③展開と教材の精選を綿密に行い、生徒自らが主体となって活動できるような学習の展開を保障すること。

### 3 単元の目標

- (1)江戸時代の成立の経緯と政治制度のあらまし、幕府による大名や朝廷の統制政策を理解させる。  
【社会的事象についての知識・理解】
- (2)江戸時代の身分制度と武士・百姓・町人の暮らしに関心を持たせ、身分によるきびしい差別があった理由を考えさせる。【社会的な思考・判断】
- (3)貿易の振興から鎖国へと対外政策が変化したことと、幕府が鎖国体制を行っていった理由を多面的・多角的に考察する。【社会的な思考・判断】【資料活用の技能・表現】
- (4)鎖国下の貿易、朝鮮との交流や琉球の役割、アイヌの人々の生活に関心を持たせ、鎖国下の対外関係を理解させる。【社会的事象についての知識・理解】

### 4 単元の指導計画（5時間取り扱い）

次	題 材	主 な 学 習 内 容	配 当
1	江戸幕府の成立と支配のしくみ	●江戸時代の成立の経緯と政治制度のあらまし、幕府による大名や朝廷の統制政策を学習する。	1 時間
2	さまざまな身分と暮らし	●江戸時代の身分制度と武士・百姓・町人の暮らしに関心を持ち、身分による厳しい差別があったことを学習する。	1 時間
3	貿易の振興から鎖国へ	●貿易の振興から鎖国へと対外政策が変化したことと、幕府が鎖国体制を行っていった理由を多面的・多角的に考察する。	2 時間 (2/2) 本 時
4	鎖国下の対外関係	●鎖国下の貿易、朝鮮との交流や琉球の役割、アイヌの人々の生活に関心を持ち、鎖国下の対外政策を学習するとともに国内政策に与えた影響を学習する。	1 時間

### 5 単元の評価計画

次	題材の目標	徹底 能動	関心・意欲 ・態度	社会的な思考 ・判断	資料活用の 技能・表現	知識・理解
1	江戸幕府の成立と支配のしくみ (P90～91) ●260年余りも続く安定した時代がどのようにして生まれたかについて関心を持つ。 ●江戸時代の政治制度の	能動と徹底	○江戸時代が長く続いたことに気づき、安定した時代がどのようにして生まれたのかに関心を高めている。		○地図「おもな大名の配置」から大名統制の方法を読み取るなど歴史地図を活用している。 【ワークシート】	

1	<p>あらまじと、幕府による大名や朝廷の統制について理解する。</p> <p>【江戸幕府・徳川家康・藩・武家諸法度・参勤交代】</p>		【観察法】			
2	<p>2 さまざまな身分とくらし(P92～93)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●江戸時代の身分制度と武士、百姓、町人それぞれの職分や生活の様子を理解する。</li> <li>●百姓や町人とは別に差別された身分の人々がいたことの意味について考える。</li> </ul> <p>【武士・百姓・町人】</p>	徹底	<p>○江戸時代に確立した身分制度の中での差別が近代や現代にも残っていくことに関心を持ち、差別を許さないという態度を身につけている。</p> <p>【観察法】</p>		<p>○グラフ「身分別の人口の割合」などから、江戸時代の身分とそれぞれの職分や生活の様子を調べ、表などにまとめている。</p> <p>【ワークシート】</p>	
3	<p>3 貿易の振興から鎖国へ(P94～95)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●江戸幕府の対外政策の変化について調べ、貿易の振興から鎖国へと方針を変えた理由を考える。</li> <li>●島原・天草一揆以後に幕府がとった対策とその影響を理解させる。</li> </ul> <p>【島原天草一揆・鎖国】</p>	能動と徹底		<p>○江戸幕府が17世紀の前半に対外政策を「鎖国」政策に切り替えた理由を、キリスト教禁止の徹底や幕府の貿易利益独占、情報の統制、大名統制などから考察している。</p> <p>【ワークシート】</p>	<p>○幕府が「鎖国」体制を行っていった過程を島原・天草一揆や朱印船貿易などの資料から読み取ることができる。</p> <p>【観察法】</p>	
4	<p>4 鎖国下の対外関係(P96～97)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●長崎でのオランダ・中国との交易、朝鮮との交流や琉球の役割について理解する。</li> <li>●海産物などを交易しながら独自の文化を築いていたアイヌの人々の生活に関心を持つ。</li> </ul> <p>【朝鮮通信使】</p>	能動と徹底	<p>○交易や文化交流に果たした琉球の役割やアイヌの人々の生活に対する関心を高め、現在に残る文化を大切にしようとしている。</p> <p>【観察法】</p>			<p>○島原・天草一揆以後に幕府がとった対策とそれが人々の生活に与えた影響を理解し、その知識を身につけている。</p> <p>【ワークシート】</p>

## 6 本時の学習

### (1) 目標

- ①キリスト教の禁止や諸外国との外交関係の流れに着目することができる。
- ②幕府が出島からオランダ人の出入りを禁止した理由について貿易や宗教上の視点から考察することができる。

### (2) 展開

学習活動及び形態	時間	徹底能動	教師の支援	教材・教具
1 出島の写真を読み取る。[一斉]  2 出島での学習を想起する。[個人]	7	徹底  能動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出島内部の写真から、写真の場所がどこであるかを想像しながら、本時の学習に対しての関心を深めさせる。</li> <li>・小学校で学習した内容から様々な意見を出させ、出島と鎖国の関係を導き出させる。</li> </ul>	写真 出島
<b>出島は、いったい何のために作られたのだろうか</b>				
3 鎖国が完成するまでの過程を資料を用いて確認する。[一斉]	8	徹底	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幕府の鎖国体制が、これまでどのようにして行われてきたのかを年表や写真を通して確認させる。</li> <li>・キリスト教布教のとりしまりの影響によりオランダと清のみが貿易を行っていたことを再確認させる。</li> </ul>	資料 「禁教から鎖国まで」
<b>なぜ幕府は、出島のみでオランダ人との交流を行ったのだろうか？</b>				
4 グループを6班つくり、課題に対して鎖国の目的を多面的・多角的に考察する。 [班]	20	能動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・キリスト教布教を行わないオランダ人が出島だけでしか幕府との交流を行わなかったことを資料から疑問を持たせる。</li> <li>・朱印船貿易による利益拡大についてや島原・天草一揆で、オランダ船が幕府側に味方した理由を参考にして考えさせる。</li> <li>・課題解決については、次の点から理由を含めて様々な意見を考えさせる。</li> </ul> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;">           ①封建支配の妨げになると考えられたキリスト教の禁止を徹底させた点            ②西国の大名が貿易によって勢力を強めることをふせいで、幕府が貿易の利益を独占しようとした点。         </div>	ワークシート
5 課題解決のためのグループの意見を発表する。[班別]	10	能動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループ活動では、司会者、記録者、発言者、発表者を決めそれぞれの役割のもと協力して課題解決できるように促す。</li> <li>・グループでの話し合い活動の前に、個人思考の時間を確保させる。</li> </ul>	ホワイトボード
6 本時のまとめ [一斉]	5	徹底	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題についてのまとめをグループ内で行い、司会者を中心に全員が基礎的・基本的事項となる学習課題を理解させるようにする。</li> <li>・簡単に資料を用いて教師がまとめる。</li> </ul>	